



Bank of Japan Fukushima Branch

福島県金融経済概況 (2022年3月分※)

【概況】

県内景気は、供給制約や新型コロナウイルス感染症の影響が残るなか、福島県沖地震の影響もあり、持ち直しの動きが鈍化している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が幾分和らいでいるものの、福島県沖地震の影響もあり、外食や旅行等のサービス消費を中心に減少している。住宅投資は、持ち直している。設備投資は、前年度に見送られた投資や能力増強投資がみられており、持ち直している。公共投資は、東日本大震災からの復興関連工事を中心に減少している。

鉱工業生産は、供給制約による影響が残っているほか、福島県沖地震の影響による減産もみられ、持ち直しの動きが足踏みしている。

雇用・所得環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、製造業を中心とした人員不足感の強まりから、改善の動きがみられている。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症による個人消費や供給制約による生産面への影響に注意していく必要がある。

※ 直近までに入手可能な金融経済統計およびヒアリング情報をもとに、県内の金融経済動向を取り纏め。

【前回からの基調の変化】

| 総括 | 個人消費 | 住宅投資 | 設備投資 | 公共投資 | 生産 | 雇用・所得 |
|----|------|------|------|------|----|-------|
| → | → | → | → | → | ↓ | ↑ |

(注)

- ↑ : 前回から改善度合いが強まっている、もしくは悪化度合いが弱まっている。
- : 前回から変化なし。
- ↓ : 前回から改善度合いが弱まっている、もしくは悪化度合いが強まっている。

【本件に関する問い合わせ先】
日本銀行 福島支店 総務課
TEL:024-521-6353

本資料は、ホームページ
(<https://www3.boj.or.jp/fukushima/>)
にも掲載しています。



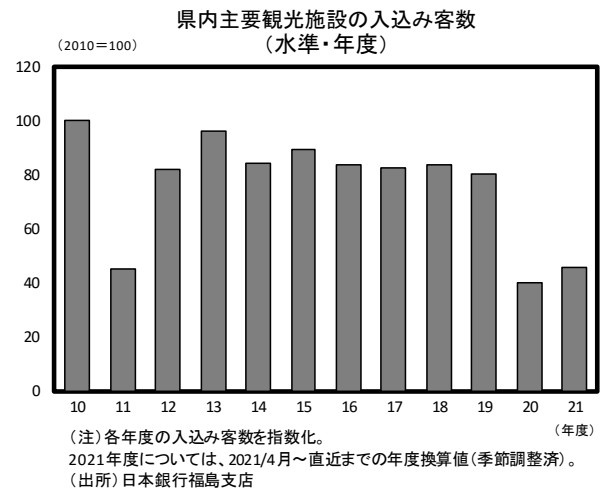
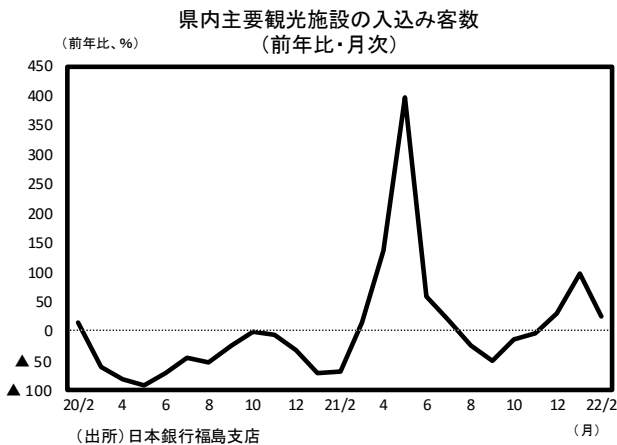
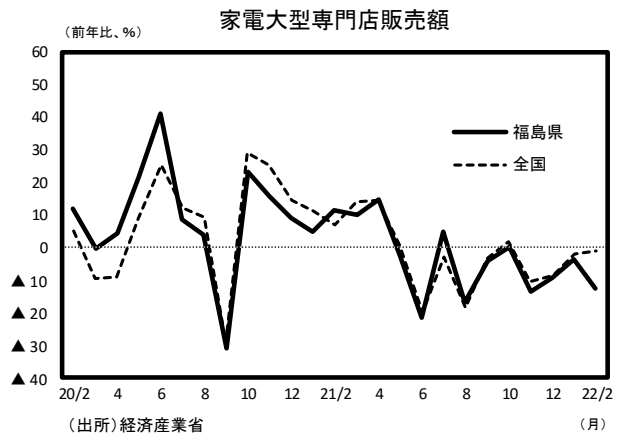
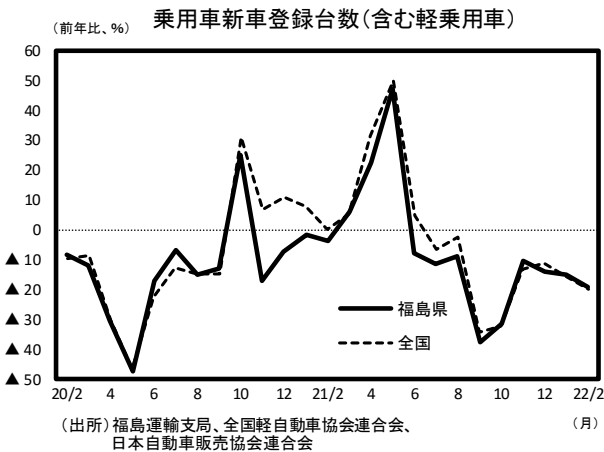
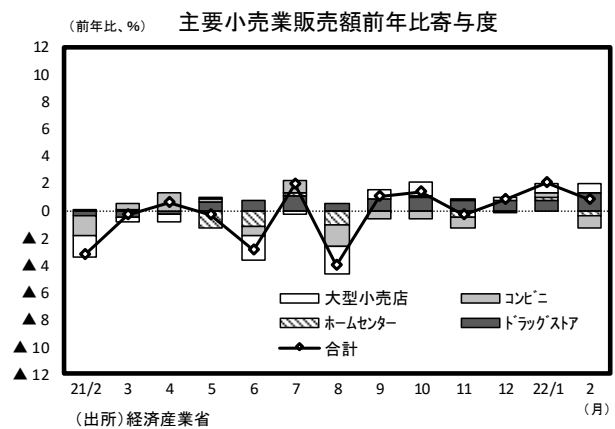
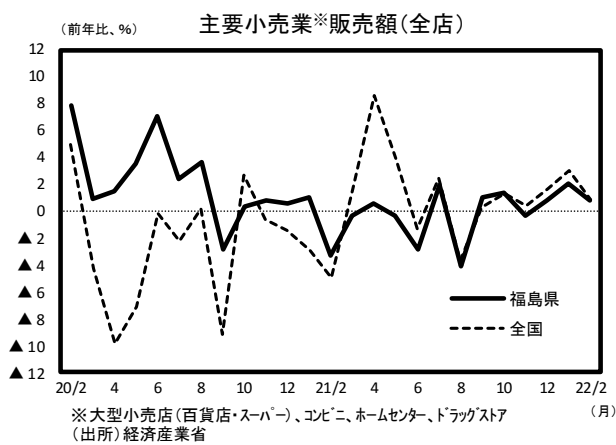
1. 需要項目別の動向

【個人消費】

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が幾分和らいでいるものの、福島県沖地震の影響もあり、外出や旅行等のサービス消費を中心に減少している。

主要小売業販売額（2月）は、前年を上回った。乗用車新車登録台数（2月）、家電大型専門店販売額（2月）は、前年を下回った。この間、外出や旅行等のサービス消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が幾分和らいでいるものの、福島県沖地震の影響もあり、減少している。

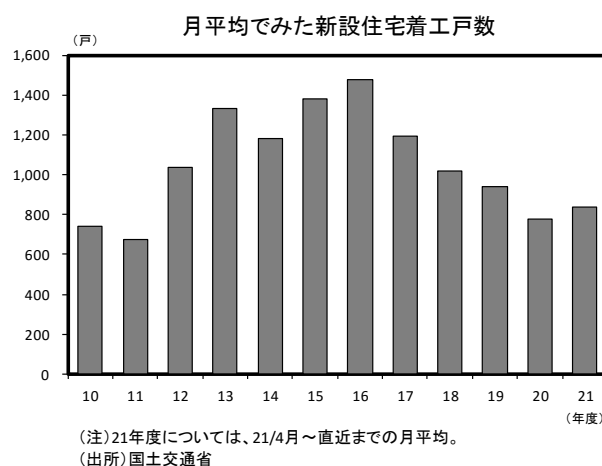
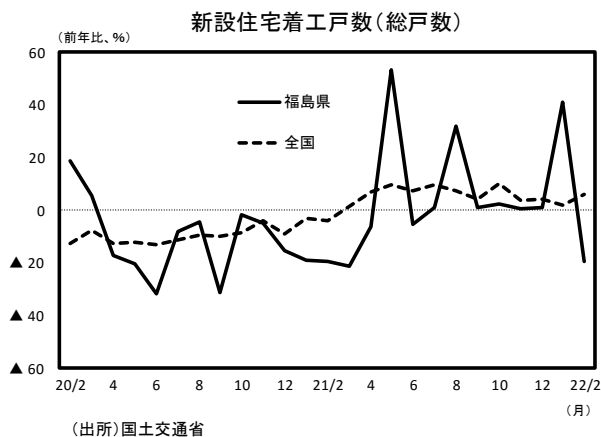
県内主要観光施設や宿泊施設への入込みは、新型コロナウイルス感染症の影響が幾分和らいでいるものの、福島県沖地震の影響もあり、減少している。



【住宅投資】

住宅投資は、持ち直している。

新設住宅着工戸数（2月）は、分譲が前年を上回ったものの、持家、貸家が前年を下回ったことから、全体でも前年を下回った。

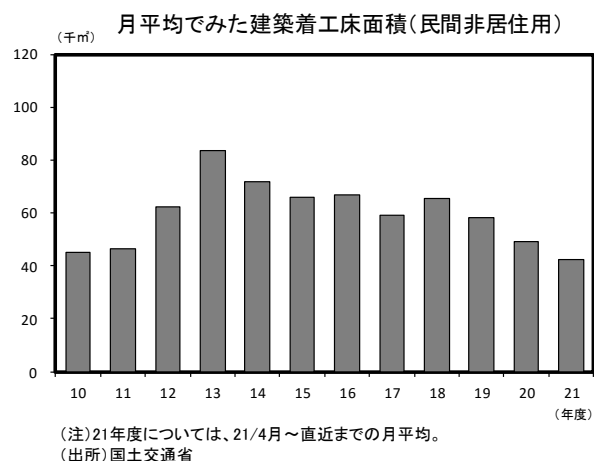
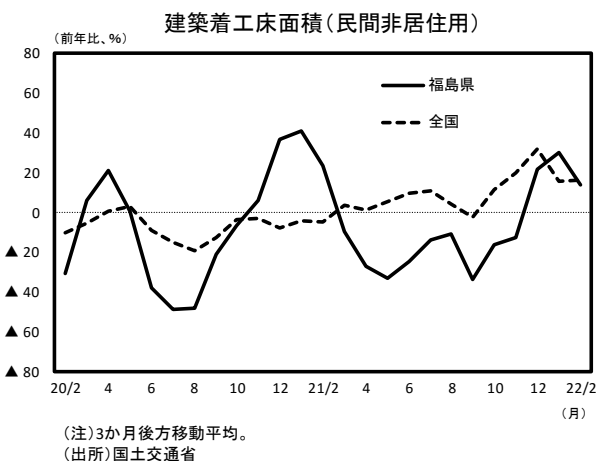


【設備投資】

設備投資は、前年度に見送られた投資や能力増強投資がみられており、持ち直している。

3月短観における県内企業の2021年度設備投資計画は、前年度をやや下回っている。製造業では、先送りされていた維持更新投資に加えて、能力増強投資がみられており、前年度を上回っている。非製造業では、前年度に増加した新規出店や店舗改装などの反動から、前年度を下回っているものの、新規需要を取り込むための能力増強投資がみられている。2022年度は、製造業、非製造業ともに前年度を上回る計画となっている。

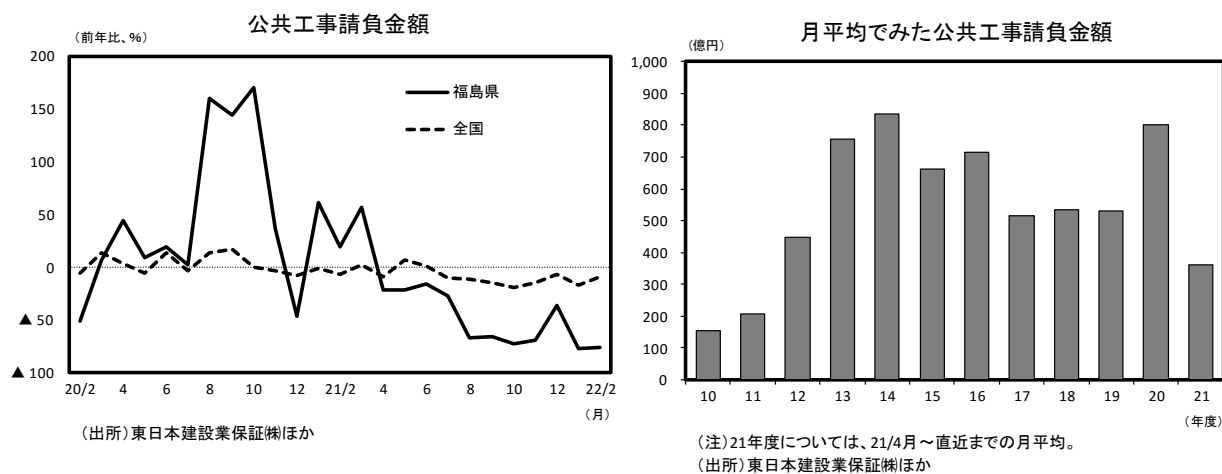
建築着工床面積（民間非居住用）（2月<3か月後方移動平均>）は、前年を上回った。



【公共投資】

公共投資は、東日本大震災からの復興関連工事を中心に減少している。

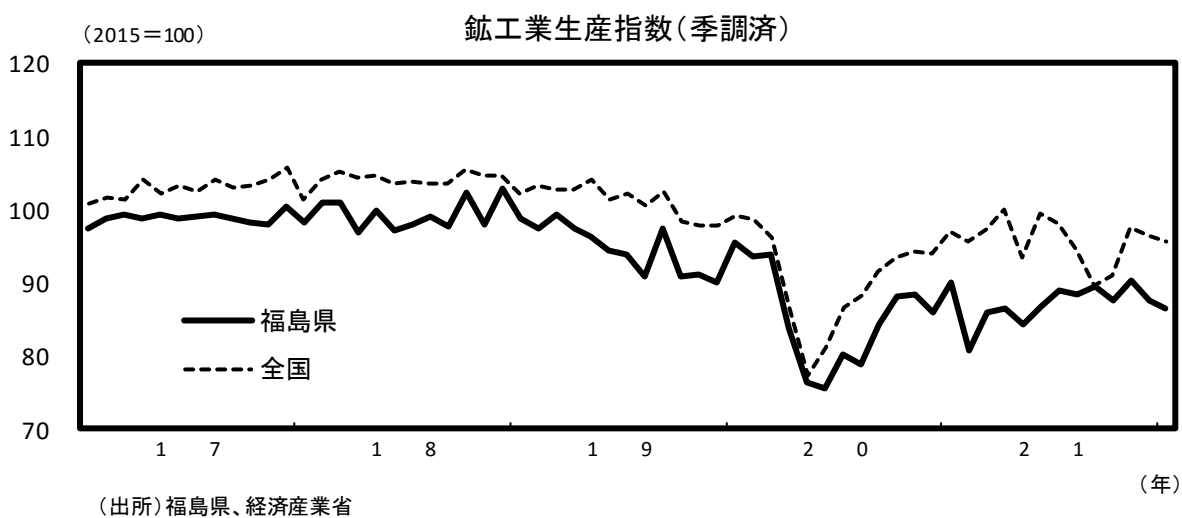
公共工事請負金額（2月）は、前年を下回った。



2. 生産動向

鉱工業生産は、供給制約による影響が残っているほか、福島県沖地震の影響による減産もみられ、持ち直しの動きが足踏みしている。

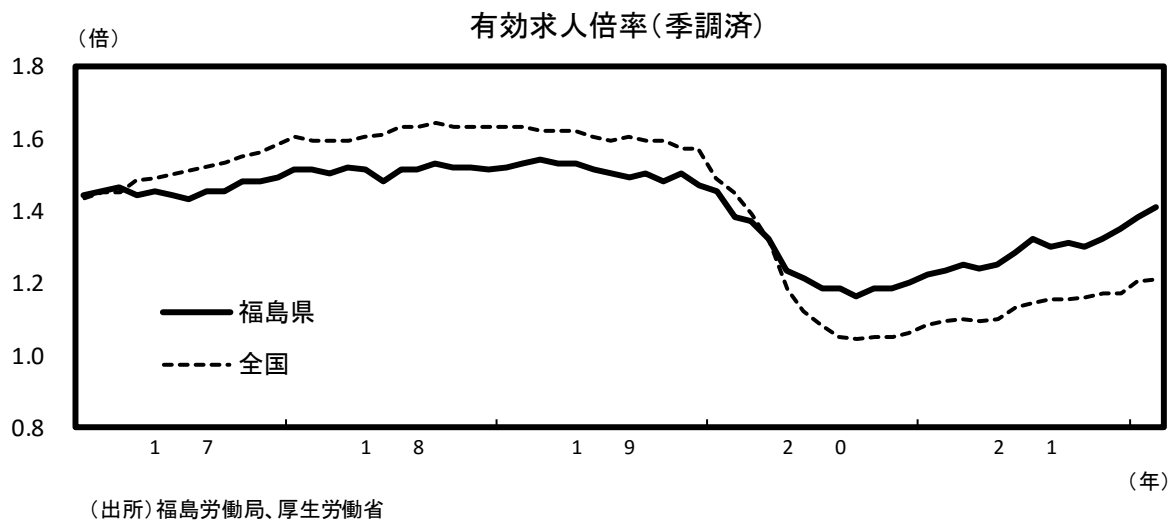
鉱工業生産指数（1月）を主な業種別にみると、情報通信機械、電子部品・デバイス、化学は上昇した一方、汎用・生産用・業務用機械、輸送機械は低下した。



3. 雇用・所得

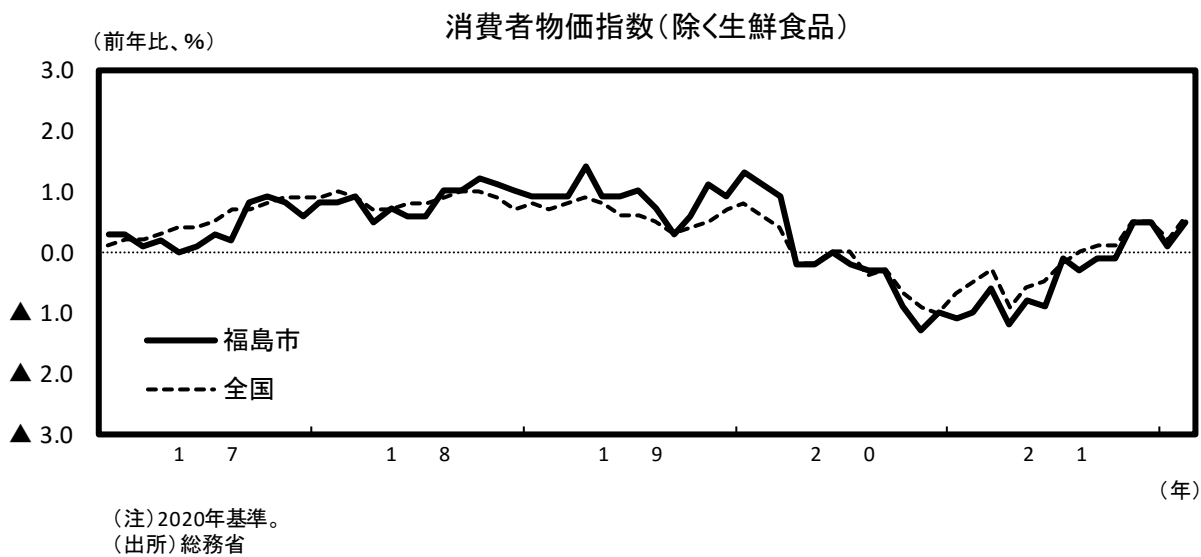
雇用・所得環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、製造業を中心とした人員不足感の強まりから、改善の動きがみられている。

有効求人倍率（2月）は、上昇した。



4. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）（2月）は、前年を上回った。



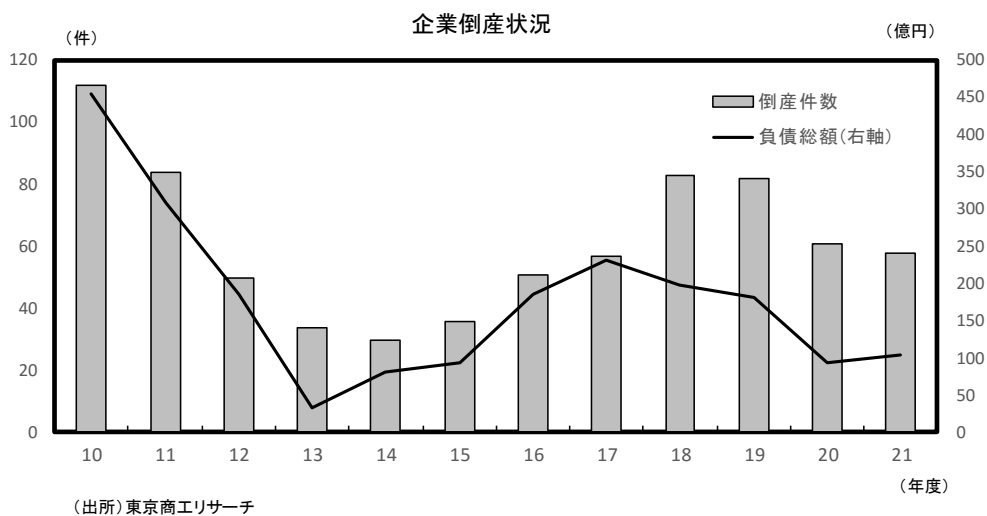
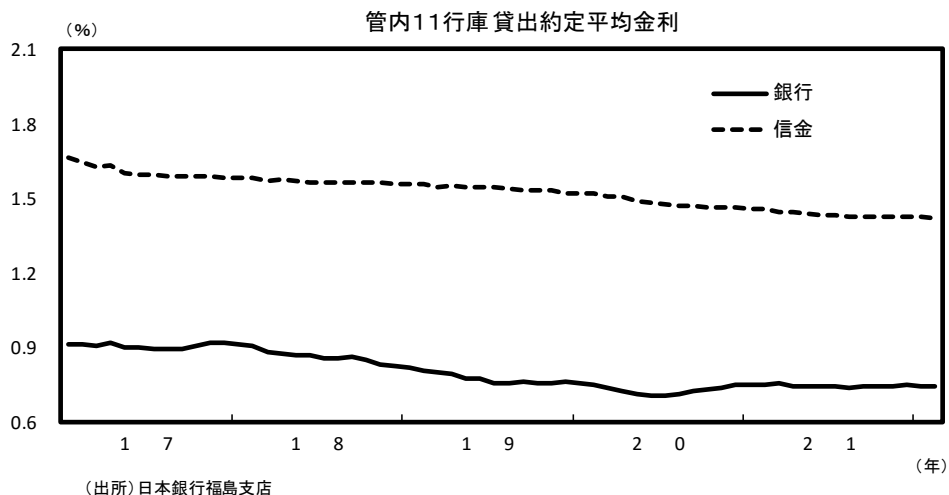
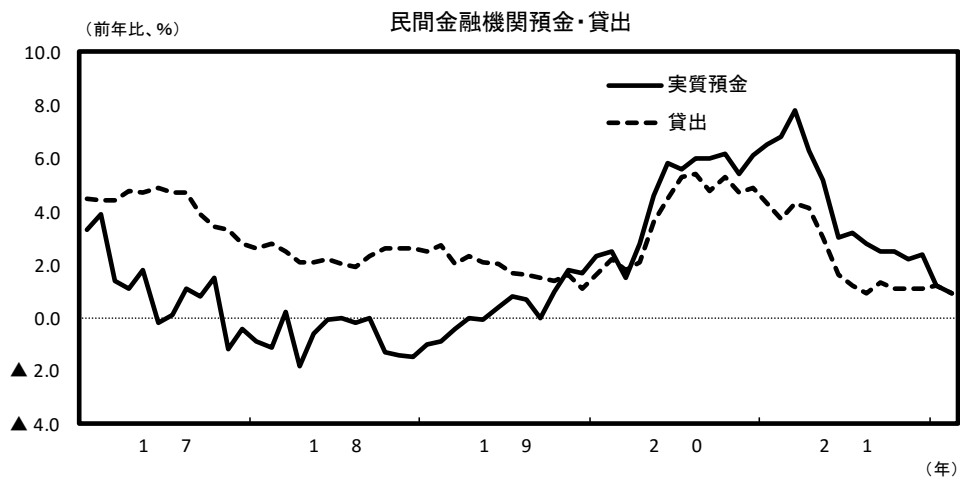
5. 金融情勢

実質預金は、前年を上回って推移している。

貸出は、前年を上回って推移している。

貸出約定平均金利は、既往ボトムの水準で推移している。

企業倒産は、落ち着いた動きとなっている。



以上

個人消費・参考図表
(福島県金融経済概況 2022年3月分)

【2019年比の推移】

| | 主要小売業販売額(全店) | 乗用車新車登録台数(含む軽乗用車) | 家電大型専門店販売額 | 県内主要観光施設の入込み客数 |
|----------|------------------|--------------------|-------------------|--------------------|
| 2021/12月 | +1.4% | ▲20.4% | ▲0.7% | ▲11.9% |
| 2022/1月 | +4.2% | ▲24.8% | +5.2% | ▲34.8% |
| 2月 | +5.2% (+0.8%) | ▲28.6% (▲19.2%) | +9.2% (▲12.3%) | ▲56.1% (+24.7%) |

注1：()は前年比。

注2：「主要小売業販売額」、「家電大型専門店販売額」は、経済産業省「商業動態統計」を用いた日本銀行福島支店による試算値。

